

タイワンシジミ対策について

宮川用水管内では平成24年頃から地区外から侵入したと考えられる二枚貝（タイワンシジミ類）が繁殖し、農業水利施設（パイプライン、給水栓等）に詰まるなどの通水阻害が生じています。

特にパイプライン末端の給水栓詰まりの被害は甚大で、該当地区の組合員の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。

その被害箇所は年々増加しており、当改良区では被害の軽減対策として、目詰まり箇所の人力除去、主要管水路での定期的な排泥工からの排出作業、また、地元管理施設においても関係役員様に排出作業のお願いを行っているところです。

また、三重大学、東海農政局、三重県で構成する学官民連携調整会議で、タイワンシジミにおける被害軽減の対策について現在、検討しております。

組合員の皆様におかれましても給水施設利用時は一度給水栓を大きく開けて一定時間開放して頂き、異物等を排出する作業を行って下さい。

また、利用の際は少量の給水ではなく、できる限り短時間で補給できるような操作をお願いします。



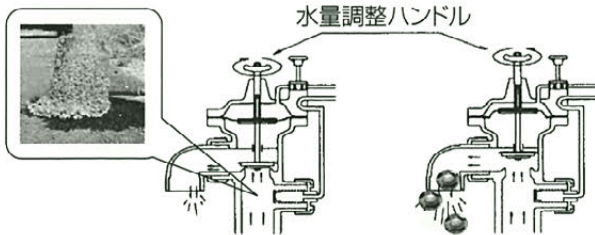
混入被害の多発地区



排出作業状況



排出されたタイワンシジミ



※「水量調整ハンドル」を絞る（右回し）
（給水絞り方向運用時）

※「水量調整ハンドル」を開ける（左回し）
（給水開方向運用時）



現場調査（三重大学）



水中カメラによる水底状況の確認

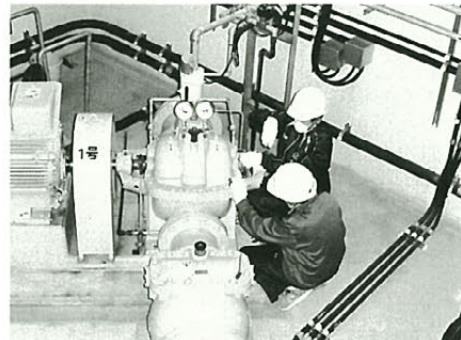
中学生による職場体験学習

今年も城田中学校から5名の生徒が職場体験学習に来て頂きました。この職場体験学習では、レベル測量や揚水機場の保守点検作業を行って頂きました。この体験が将来、少しでも役に立つことを願っています。

職場体験期間 11月28日～30日の3日間



レベル測量



揚水機場の保守点検作業